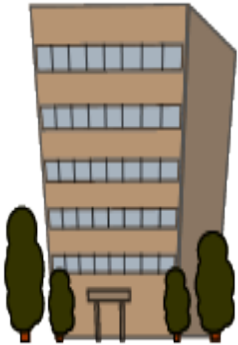


企業年金連合会の福祉施設「らんざん」の廃止について

現 状

企業年金連合会



連合会保有の福祉施設
「らんざん」

連合会から委託を受けた
民間会社が経営
(経営責任は連合会)



- 建物: 福祉施設経理の保有資産
- 土地: 年金経理の運用資産(積立金)
(所有権は信託先の銀行)



廃止

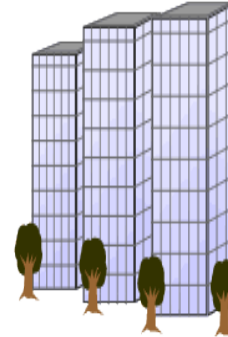
改 革 案

企業年金連合会



信託先の銀行

年金積立金の信託



信託先の銀行保有の民間宿泊
施設
(連合会は経営とは関係ない)

一般の民間宿泊施設として経営。
連合会にとっては他のオフィスビル
などと同様、投資先の一つ。

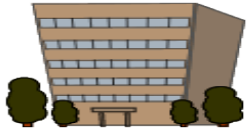


- 建物: 年金経理の運用資産(積立金)
- 土地: //

現状と改革案（企業年金連合会の福祉施設）

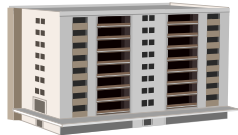
○年金積立金の運用として

12件 時価613億円相当（H21末）を運用先として投資。運用収益は9.1億円（H21）（年金積立金に充当）



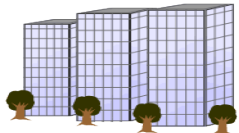
オフィス

件数5件



住宅

件数3件



商業ビル

件数1件



土地

件数1件（「らんざん」の土地）



リート

件数1件



物流（倉庫）

件数1件

○福祉施設として

1件 京都年金基金センター「らんざん」の建物を保有。



「らんざん」の建物

（注）収益から2,900万円を年金經理に地代として支払。

【改革案】

○ 企業年金連合会は、近年、年金積立金の運用としてインカムゲインの獲得を目的に不動産への投資を拡大しているところであり、「らんざん」の建物についても自ら保有することをやめ、信託先の銀行に信託し、年金運用資産の一つとする。

○ これにより、企業年金連合会の福祉施設は廃止となるため、福祉施設經理も廃止。

○ 「らんざん」は、一般の民間宿泊施設としては経営が継続されるが、企業年金連合会にとっては他のオフィスビルなどと同様、投資先の一つとなる。